

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 熊倉教室 保護者等数(児童数) 6 回収数 4 割合 66

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4件				本人5歳にとってのびのびと活動できるスペースであると感じている	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4件				支援経過記録を見ても適切であると感じる	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4件				本人にとって活動しやすい構造で配慮がされている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4件				よく清掃がされていて、安心して通わせている。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4件				家庭の状況、ニーズがヒヤリングによって分析されたうえ、反映されている。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3件	1件			本人の特性に適した項目が適切に決定され、支援内容に設定されている。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4件				実施されていると都度感じます。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4件				引き続き支援経過記録を確認させているが、良く工夫されています。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3件			1件	保育所での団体生活活動に期待している。	
保護者 への 説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4件				記録もあり、説明もされている。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3件	1件			説明とコピーも受領している。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	2件	2件			支援経過記録を参考に、家庭でできることは実施するようにしている。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4件				職員の方がその日の状況を話してくれるので、共通理解に役立っています。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3件			1件	常に助言をいただき役立っている。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2件	1件		1件	当方も関心が薄く、積極的でなかったが機会があれば参加してみた。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3件	1件			必要に応じ、相談させていただきます。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4件				家庭的な雰囲気や伝達し合える状況が継続されている。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4件				定期的に、本人の様子満足度、達成度、実施経過が発信されている。	
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	4件				十分注意されている。		
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2件	1件		1件	新型コロナウイルス対応の継続、感染症対応もされている。	
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1件	2件		1件	最近の災害に対して必要性は強く感じている。	
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	4件				大変楽しみにしている様子です。	
	23 事業所の支援に満足しているか	4件				大変助かっています。大いに満足している。	

0 0 0 0

#DIV/0!

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら

熊倉教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5件		パーテーションの設置を行った。	安全性の確認
	2 職員の配置数は適切であるか	5件		その日の人数に応じて、職員の人数を適切に配置している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5件		誰でも絵分りやすいように、図や表で可視化されている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5件		日頃から掃除を徹底し、清潔感を保っているようにしている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5件		子どもについて話す機会を増やしている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5件		保護者からの声に耳を傾け、出た意見は職員に周知しながら、業務改善に繋げている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5件		インスタグラムや、ブログを定期的に動かしている。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5件		本部の人からの意見を取り入れ、業務改善に繋げている。 田教室との話し合いをしている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5件		研修以外でも、話す場を作っている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5件		保護者からの意見があった場合には、すぐに取り入れている。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5件		使用しながら行っている。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5件		ガイドラインに沿って、適切な支援が行われるように職員で話し合いをしながら、立案するよう心がけている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5件		一人ひとりの発達の状況に合わせてながら、支援計画を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5件		現場の職員に偏りがないようにしている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5件		子どもたちの意見を取り入れながら、新しい活動プログラムを考えている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5件		固定化しないように、個々の支援にあった支援プログラムを作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5件		一日の流れを職員全体で話し合い、各自がしっかりと動けるように取り組んでいる。 内容の平等化をしている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5件		子どもの様子や、気になる点など意識的に共有している。 一日を通しての話し合いを欠かさずに行っている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5件		支援終了後、業務日報に記録し支援の改善に努めている。	
関係機関や保護	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5件		モニタリングの中で、日々の子どもの様子を伝え、保護者のニーズを聞きながらその都度計画を見直している。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5件		出来ている。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5件		研修などを通して、外部との連携を図れるようにしている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		5件		医療的ケア児を受け入れるための体制が整っていないため改善が必要。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		5件		医療的ケア児を受け入れるための体制が整っていないため改善が必要。
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5件		随時情報を交換し合いながら、支援を行えるようにしている。		

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5件		必要に応じて、小学校にも行き普段の様子などを共通理解できるようにしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5件		研修などが開かれている際には、参加をし情報交換をしている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5件			コロナも落ち着いてきているので、そのような機会があれば開催を検討する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5件		すこやか発達部会という市主催の研修に参加する。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5件		自宅に送迎した際に、その日の様子などを保護者に伝えている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	5件		保護者からの相談を受けた際には、話の場を設けて家族支援プログラムを提供している	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5件		内容に質問があれば、いつでも対応している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5件		支援計画を作成し、保護者の方に同意をえたうえで、支援に組み込んでいる。また、そこで要望が出た際には、もう一度作成し保護者に確認をしている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5件		相談があった際には随時対応を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5件			必要性がある場合に検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5件		その都度それにあつた支援を心がけている	
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5件		毎月次月の行事予定などを手紙で配布し、情報を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5件		個人情報になるものは、鍵のかかるロッカーに保管し、取り扱っている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5件		日々、保護者や子どもとの意思の疎通を図りながら支援している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5件			必要性があれば検討していく。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5件		事業所内にマニュアルを掲示している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5件			様々なパターンに備え、避難経路を複数考える必要がある。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5件		個々のファイルに薬の服用履歴を記し、職員全員が把握できるようにしている	
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5件		アレルギーについて、書面で記し職員全員が把握したうえで、おやつなどの際に誤って出さないように心がけている。		
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5件		ヒヤリハットのファイルを用意し、その都度記入をしている。また、次同じことが起こらないための改善案を話し合っている。		
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5件		月一度虐待防止研修を行い、ニュースなどで取り上げられている事例をもとに話し合いをしている。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5件		命の危険などがあった際のみ、身体拘束を行うことがあることについて、保護者の了承を書面で受けている。		